

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)伊勢原市桜台計画新築工事	階数	地上11F
建設地	伊勢原市桜台2丁目16-1	構造	RC造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	515 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月 予定	評価の実施日	2016年6月13日
敷地面積	5,680 m ²	作成者	(株)長谷工コーポレーション
建築面積	1,573 m ²	確認日	
延床面積	11,818 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値: 100% (0-230 kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み: 69%</p> <p>③上記②以外の: 69%</p> <p>④上記+: 69%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 3.2**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 3.5	Q2のスコア = 3.3	Q3のスコア = 2.5
音環境: 3.1, 温熱環境: 2.9, 光・視環境: 3.9, 空気質環境: 4.2	機能性: 3.7, 耐用性・信頼性: 3.1, 対応性・更新性: 3.0	生物環境: 2.0, まちなみ・景観: 3.0, 地域性・アメニティ: 2.5

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.5**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 3.9	LR2のスコア = 3.1	LR3のスコア = 3.4
建物外皮の熱負荷: 3.0, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化: 4.8, 効率的運用: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の使用削減: 3.3, 汚染物質回避: 2.9	地球温暖化への配慮: 4.2, 地域環境への配慮: 3.0, 周辺環境への配慮: 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
住宅用途らしいアースカラー系の外壁色とし、町並みに配慮した。周囲への圧迫感の軽減のため、道路からセットバックした住棟配置とし、周囲の街並みとのスケールの調和を図った。	0
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 住戸の主開口面には庇(バルコニー)及びカーテンレールを設置。 F☆☆☆☆・VOCの放出が極めて少ない部材を採用。 <p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅性能温熱等級3とした。 廊下側及び妻側サッシは複層ガラスとする。(空気層6mm) 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> 共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。 各住戸に電話、CATV、インターネットに対応した回線を引き込む計画。 入居者が多目的に利用出来る共用室を計画。 <p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> 内装の更新性に配慮し、二重天井、二重壁の採用。 和室襖にダン襖を採用する。
<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <ul style="list-style-type: none"> 敷地北側、東側の道路沿いには、公開性のある自主管理歩道を設け、地域の賑いに配慮する。 自治体の景観計画に適合した彩色とした。 <p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治体の緑化基準を上回る緑化に努めた。 自治体の指導に基づいた雨水排水の流出抑制対策を実施。 	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される